

内発的意欲(達成志向的意欲)
 …「新しいことを覚えるのは楽しい」等
外発的意欲(手段志向的意欲)
 …「勉強しないと叱られるから勉強する」等

<http://www.change-sendai.jp/>
 からダウンロードいただき、
 各校での指導にご活用ください。

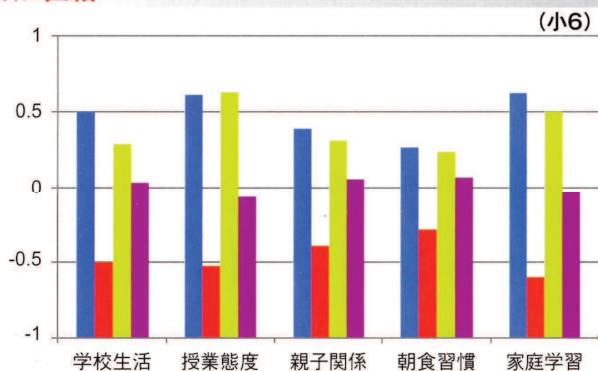


■生活習慣・学習習慣は学ぶ意欲に直結

図6 意欲のパターンと学習・生活習慣 (小6)

朝食習慣、親子関係共にC12群は
 思わしくない状況であるが、学習習
 慣や生活習慣においても同傾向

■ C11 「内発的意欲」「外発的意欲」ともに高い児童
 ■ C12 「内発的意欲」「外発的意欲」ともに低い児童
 ■ C13 「内発的意欲」は高く、「外発的意欲」は低い児童
 ■ C14 「外発的意欲」は高く、「内発的意欲」は低い児童

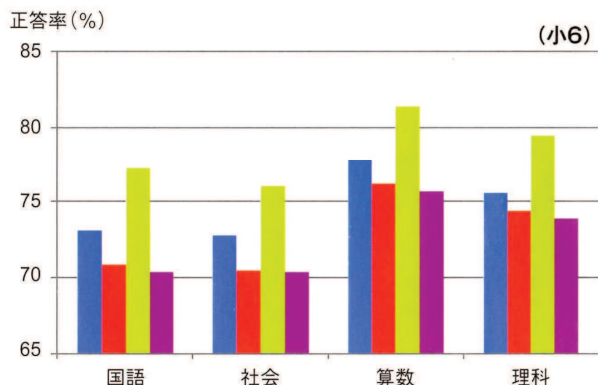


■やらされ感にはマイナスに

図7 意欲のパターンと学習成績 (小6)

やらされ感を強く感じているC14
 群は、内発・外発共に低いC12群
 (放任されている)と比べても、成
 績がふるわない

■ C11 「内発的意欲」「外発的意欲」ともに高い児童
 ■ C12 「内発的意欲」「外発的意欲」ともに低い児童
 ■ C13 「内発的意欲」は高く、「外発的意欲」は低い児童
 ■ C14 「外発的意欲」は高く、「内発的意欲」は低い児童



発行元：学習意欲の科学的に関するプロジェクト

川島 隆太 (東北大学加齢医学研究所教授) 筒井 健一郎 (東北大学生命科学研究科准教授)
 杉浦 元亮 (東北大学加齢医学研究所准教授) 荒木 剛 (東北大学文学研究科助教)
 庄子 修 (仙台市立富沢中学校長) 山内 修 (仙台市立茂庭台小学校長)
 菅野 茂 (仙台市教育委員会学校教育部長) 日塔 光博 (仙台市教育委員会学校教育部参事)
 成田 忠雄 (仙台市教育委員会確かな学力育成室長) 阿部 英伸 (仙台市教育センター主幹)

事務局
 藤森 幸 (仙台市教育委員会確かな学力育成室主幹)
 長田 徹 (仙台市教育委員会確かな学力育成室指導主事)



低学年での「やらされ感」は学力にマイナス効果!

仙台市標準学力検査と
 仙台市学習状況調査から

- 内発的動機付け**
 - 「知ることや分かることの楽しさ」を実感できるような授業の工夫や体験を
- 生活習慣学習習慣**
 - 低学年から、授業の準備や宿題を計画的に行う指導を
 - 望ましい生活習慣、確かな学習習慣の定着は、家庭と学校の共同作業から
- 将来の夢や目標**
 - 低学年では、あこがれや大きな夢を
 - 高学年以降では、将来や進路に関する具体的な知識・技能の指導を

学習状況調査の目的

- 児童生徒の学習状況や生活習慣等について、全市的な規模で客観的な把握・分析を行う
- 各学校が、自校の成果と課題を把握・分析し、指導の工夫・改善を図る
- 調査結果を、個に応じたきめ細かな指導の充実に生かす

調査内容(質問紙調査)

- 学校生活 ● 授業 ● 学習意欲 ● 家庭生活 ● 自由時間 ● 家庭学習
- 社会・地域とのかかわり ● 道徳心・挑戦・夢 ● 自分づくり

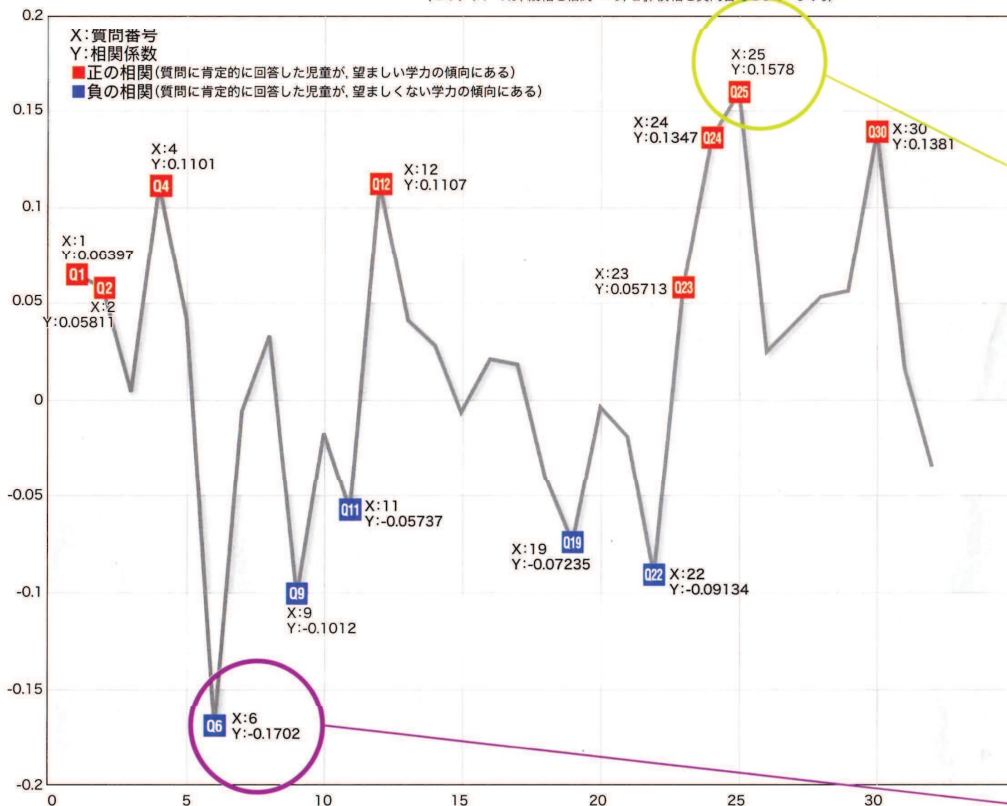
参加状況等

- 実施校数 全市立小学校125校 全市立中学校63校 中等教育学校1校
- 実施日 平成22年4月12日(月)～16日(金)
- 有効回答数(参考:総回答者数70,578人)

| 学年 | 有効回答数/回答数 | 学年 | 有効回答数/回答数 |
|----|---------------|----|---------------|
| 小2 | 5,009人/8,506人 | 小3 | 5,248人/8,796人 |
| 小4 | 5,050人/8,982人 | 小5 | 3,530人/8,870人 |
| 小6 | 4,014人/9,031人 | 中1 | 3,628人/8,318人 |
| 中2 | 2,802人/8,308人 | 中3 | 3,031人/8,056人 |

■ 相関を調べた分析結果の例(小3) グラフの見方について

このグラフ中の相関とは、標準学力検査の成績(総合)と学習状況調査の回答との類似性の度合いを示す統計学的な指標です。単位はなく、通常「1」から「-1」の実数値をとり、「1」に近いときは、二つの確率変数には正の相関があると見ます。「-1」に近いときは負の相関があると見ます。「0」に近いときは相関が弱いということです。一般的には「±0.2」程度になると「相関がある」と目安としています。(このグラフでは、縦軸を相関「±0.2」、横軸を質問番号としています。)



質問内容

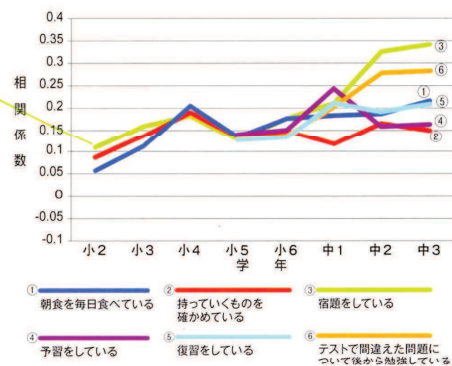
- Q1 学校で友だちに会うのは楽しい
- Q2 いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う
- Q3 学校の決まりを守っている
- Q4 学校で好きな授業がある
- Q5 新しいことを覚えるのは楽しい
- Q6 大人になった時に役に立つ勉強だけしたいと思う
- Q7 テストで良い点だと皆からすごいと思われるので頑張る
- Q8 自分の夢を叶えるためにたくさん勉強する
- Q9 勉強しないと叱られるから頑張る
- Q10 出来ないことは何回も練習する
- Q11 皆が勉強しているから自分も勉強する
- Q12 朝ご飯を毎日食べている
- Q13 朝ご飯はご飯やパンとおかずを食べている
- Q14 家の人に話をしっかりと聞いてもらっている
- Q15 家の手伝いをしている
- Q16 家での生活について家の人との約束を守っている

- Q17 良いことをしたり頑張ったりした時に家の人から褒められる
- Q18 普段(月~金)夜何時ごろに寝ますか
- Q19 休みの日は朝何時ごろに起きますか
- Q20 放課後や休みの日に外で遊んでいますか
- Q21 普段(月~金)に1日どれぐらいの時間勉強をしますか(塾含む)
- Q22 学校が休みの日に1日どれぐらいの時間勉強をしますか(塾含む)
- Q23 学習塾に行っていますか
- Q24 学校に持っていくものを前の日かその日の朝に確かめている
- Q25 学校の宿題をしている
- Q26 地域の人に会った時は挨拶をしている
- Q27 人が困っているときは進んで助けている
- Q28 自分に良いところがあると思う
- Q29 難しいことでも失敗を恐れなくてチャレンジしている
- Q30 夢や目標を持っている
- Q31 大人になった時のことを考えると楽しい気持ちになる
- Q32 大人になった時のことについて家の人と話している

※赤表示は正の値について有意性を認めたもの 青表示は負の値について有意性を認めたもの

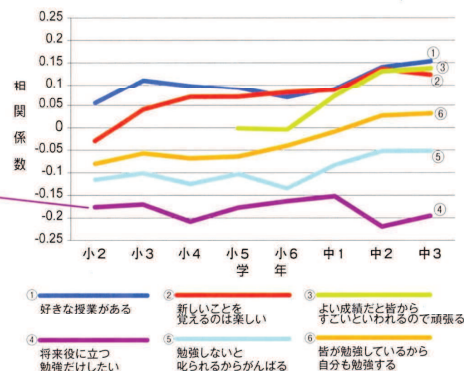
■ 生活習慣・学習習慣の定着は、低学年でその実りは高学年で 家族一緒に朝食と和やかな団らんを

図1 生活・学習習慣と学習成績の関係



■ 内発的動機付けを

図3 動機付けと学習成績の関係



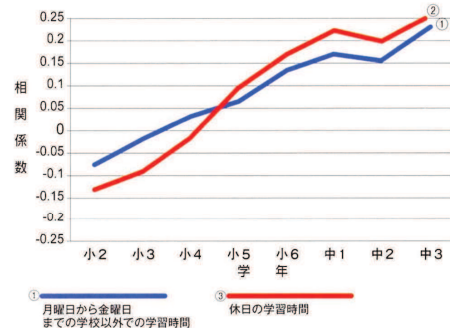
■ 自分の考えをまとめ表現する力を

図5 表現力と学習成績の関係

自分の考えを表現することが苦手な子どもたちは、成績についてマイナスの相関が見られます。

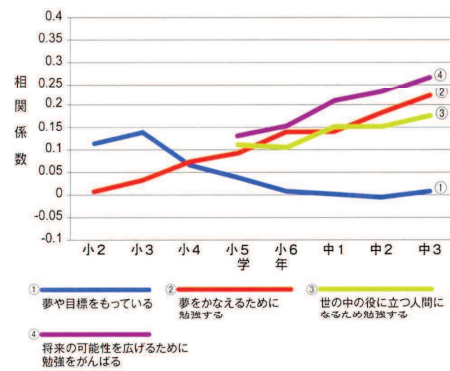
■ 低学年では学校の授業の重視を

図2 学習時間と学習成績の関係



■ 低学年では大きな夢を 高学年以上では将来や進路に関する具体的な知識・技能を

図4 将来の目標と学習成績の関係



① 自分の考えを表現するのは難しい

